

事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	施設の管理・運営	1次評価のみ対象分
コード	名称		区分	コード	名称
事業名	812	河川維持経費	会計	01	一般会計
基本施策	20	美しい川の環境を維持する	款	08	土木費
施策	1	河川環境の保全・整備	項	03	河川費
			目	03	準用河川改修対策費
			細目	101	準用河川管理経費
			細々目	06	河川維持経費
基本計画該当頁	105	担当部課	コード	753500	評価者氏名
行革大綱の重点事項番号		名称		青山支所産業建設課	上田 賢博
					連絡先
					52 - 3220 (内線) 直通

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)
	管内の市民 (対象件数)	河川水路への転落等の事故の危険性が低減される。
開始年度	平成 18 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
本年度事業内容	立木伐採及び防護柵修繕工事	状況変化等 計画的に継続実施している

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	() 人
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	1,585 千円
4 市内の類似施設	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
立木伐採箇所数	箇所	目標 1 実績 1	目標 1 実績 1	1	1
防護柵修繕箇所数	箇所	目標 1 実績 1	目標 1 実績 1	1	1
		目標 実績	目標 実績		
		目標 実績	目標 実績		
		目標 実績	目標 実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
立木伐採箇所数	工事実施箇所数が、実績となる。	箇所	目標 1 実績 1	目標 1 実績 1	1	1
防護柵修繕箇所数	工事実施箇所数が、実績となる。	箇所	目標 1 実績 1	目標 1 実績 1	1	1

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	防護柵が、老朽化しており転落事故防止に必要である。また、立木が大木化しており、火災防止及び環境保全に必要である。
有効性	4	転落事故防止及び火災防止及び環境保全を図れる。
達成度	3	毎年、順次実施している
効率性	3	計画的かつ効率的な事業実施を図る。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	修繕の必要な箇所を的確に把握し、効率的な維持管理を実施していく。

進捗状況	年度	平成17年度 決算内容				平成18年度 決算内容				平成19年度 計画内容				平成20年度 計画内容			
		事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)
委託						委託料			651	工事費			1,000	工事費			1,000
						工事費			934								
進捗率(%)		事業費計(A)				事業費計(A)				事業費計(A)				事業費計(A)			
		0				1,585				1,000				1,000			
事業投入人員		人件費(B)		人	0	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720
フルコスト(A)+(B)		0				2,305				1,720				1,720			

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	金額	17年度	18年度	19年度	20年度
Aの財源内訳	国庫支出金	0	1,585	1,000	1,000	
	県支出金					
	地方債					
	受益者負担					
	その他					
	一般財源	0	1,585	1,000	1,000	
	計	0	1,585	1,000	1,000	
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等					